

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏 名	RS	学部・学科	国際教養学部・国際教養学科
学 年	3	派遣国	スペイン
派遣大学	マドリードコンプルテンセ大学		
期 間	2024 年 8 月 31 日～ 2025 年 2 月 11 日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / 学外の学生寮 / <u>アパート</u> / その他 ()					
部屋	<u>個室</u> / 2 人部屋 / 3 人部屋 / その他 ()					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	◎	シャワー	◎	洗面所	◎
	キッチン	◎	冷暖房	○	冷蔵庫	◎
滞在費	約 (89,000) 円 *1ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	(バス) で、約 (45) 分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先 2 の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1ヶ月の生活費

項 目	金 額	内 訳
食費	約 32,000 円	スーパー、レストラン、学食
学用品購入費	0 円	
交通費	約 1,500 円	学生定期を使用
交際費	約 20,000 円	友達とバルや、近場への旅行代
その他	約 15,000 円	洋服や市場で雑貨の購入や、携帯代など
合計	68,500 円	*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

マドリードはとても安全な場所だと私自身思いましたし、他のヨーロッパから来た留学生も言っていました。夜中に中心地を歩いていてもご飯屋さんが夜遅くまで開いていたり、地下鉄やバスも深夜 2 時ごろまでは運行していたりするため治安が悪い、誰かに絡まれる、暗いと感じたことはありませんでした。またスリなども聞いたことはありませんでしたが、夜中に出歩く時などは気を抜かないようにはしていました。

3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 / その他 ()		
加入期間	(7) ヶ月間	保険料	(60,580) 円

現地の国／大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称	Innoinsure の Asisa		
加入期間	(7) ヶ月間	保険料	(約 67,000) 円

4. 滞在都市についての情報

滞在都市／町 (マドリード) マドリードは常に天気が良く、気温としては秋～冬にかけて横浜の気温と同じくらいでした。そして天気と同じく陽気でオープンな人々が沢山います。何か町や店、大学で分からないことがあって質問しても多くの人が優しく反応してくれます。反対に驚いたのは、私にも質問してくる人が沢山いる事です。バスやスーパー、駅などで地元の人に質問されたことがあります。アジア人の見た目をしていても当然のようにスペイン語で声をかけられるため嬉しかったです。むしろ友達の話の聞いていると英語が苦手な人がヨーロッパにしては多いのではないかともしました。 私の印象としてスペイン人は「よくしゃべる」人が多いように思います。もちろん授業中の先生に対する発言・質問も多く、バスの中でも皆が友達との会話や電話・ボイスメッセージなどでしゃべっており最初は日本の静かさを恋しく思いましたが、慣れてきてからは良いスペイン語の勉強だと思い耳を傾けて聞くようになりました。 生活面では、物価は安く食べ物もパエリア、チュロス、生ハム、フルーツなどおいしいものが沢山ある上に24時間開いているお店もあるため食で困ったこともありませんでした。 マドリードにいる人がみんな使っている交通カードさえあればバス・地下鉄・レンフェが乗り放題です。さらにぎゅっとまとまった街なので交通機関を使えば30分程度でどの目的地にも簡単に行けます。 マドリードは天気が良く、人も陽気、食べ物もおいしい、程よく都会な街です。 スペイン語を勉強したい人にとっては最高の留学先だと思います。
--

【学業編】

1. 大学情報

大学	マドリードコンプルテンセ大学	所在地	Avda. de Séneca, 2 Ciudad Universitaria 28040 MADRID
最寄空港	マドリードバラハス国際空港	空港からの距離	約 20～25km
空港⇄大学	(空港から地下鉄の 8 番線に乗って Nuevos Ministerios まで行く。 そこから 6 番線に乗りついで Ciudad Universitaria で降りる。) *移動手段		
学生数	約 8 万人	留学生数	約 1 万人
学部	• Bellas Artes(美術) • Ciencias Biológicas (生物) • Ciencias de la Documentación • Ciencias de la Información (情報) • Ciencias Económicas y Empresariales (経済・経営) • Ciencias Físicas (理学) • Ciencias Geológicas (地質学部) • Ciencias Matemáticas (統計学部) • Ciencias Políticas y Sociología (政治・社会学) • Ciencias Químicas (化学部) • Comercio y Turismo (商業・観光) • Derecho (法律) • Educación-Centro de Formación del Profesorado (教育学部) • Enfermería, Fisioterapia y Podología (看護学部、理学療法、足病学部) • Estudios Estadísticos (統計研究) • Farmacia (薬学) • Filología (文学部) • Filosofía (哲学部) • Geografía e Historia (歴史・地理学) • Informática (情報学部) • Medicina (医学部) • Odontología (歯学部) • Óptica y Optometría (光学) • Psicología (心理学) • trabajo Social (社会福祉) • Veterinaria (獣医学) *留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。		
学部/専攻	Ciencias Políticas y Sociología (政治・社会学) *留学中に所属した学部/専攻を記載してください。		

2. 週間スケジュール

① (9)月～(1)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前				-Teoría de las relaciones internacionales	-Teoría de las relaciones internacionales
午後	-Introducción a la Antropología -Introducción a la psicología social	-Introducción a la Antropología -Introducción a la psicología social		-Introducción a la sociología -Procesos psicológicos básicos	-Introducción a la sociología -Procesos psicológicos básicos

② ()月～()月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前					
午後					

3. 履修内容

科目	Introducción a la Antropología		
履修期間	秋学期	単位数	6ETCS
授業内容／形態	文化人類学の授業で、参加人数は7人ほどです。月曜日は先生による理論的説明で、火曜日は実践やグループワークを行います。授業では「価値・シンボル・意味」の三つのキーワードを軸に経済や人種などの側面から人々の暮らしや文化を分析します。また2週間に一度ほど個人ワークが出されます。そして最終ワークでは現地人にインタビューしてグループワークする課題がありました。		
成績	8.5		
YCU 振替予定	科目	文化人類学	
	単位数	2 単位	
	担当教員		

科目	Introducción a la psicología social		
履修期間	秋学期	単位数	6ETCS
授業内容／形態	学期前半では社会心理学について動画やスライドを使ったり、ロールプレイングをしたりする参加型の講義でした。後半になると先生からの説明がメインになり、たまに実験動画や映画を見ました。最終プレゼンは今までの授業を踏まえてその中の学説を使い選んだテーマを考察する形でした。		
成績	6		
YCU 振替予定	科目	社会心理学	
	単位数	2 単位	
	担当教員		

科目	Teoría de las relaciones internacionales		
履修期間	秋学期	単位数	6ETCS
授業内容／形態	国際関係、世界情勢を扱います。ヨーロッパの歴史からイスラエルの戦争まで先生が説明する30人規模の一切授業です。		
成績	不可		
YCU 振替予定	科目	国際関係論	

	単位数	2 単位
	担当教員	

科目	Introducción a la sociología		
履修期間	秋学期	単位数	6ETCS
授業内容／形態	社会学について「社会のマクドナルド化」という本の内容と並行して基礎的な知識を教えながら進められていく。		
成績	不可		
YCU 振替予定	科目	社会学	
	単位数	2 単位	
	担当教員		

科目	Procesos psicológicos básicos		
履修期間	秋学期	単位数	6ETCS
授業内容／形態	時間割としては木曜日・金曜日で時間が取られているが、木曜日のみ教室で参加し他の受講生や先生とテーマについて話す。若者世代のジェンダー観について主に扱った。そして金曜日にはキャンパスバーチャルという YCU－Board のようなものに、先生から提示された記事を読んだ感想・質問や意見をアップロードする形式		
成績	不可		
YCU 振替予定	科目	発達心理学	
	単位数	2 単位	
	担当教員		

<総括>

(1) 全体的な感想

*留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800 字以上)

この半年間は新しいことを知る学びが沢山多く、心身ともに成長しました。その分成長痛も大きかったように思います。最初はとにかく生活・授業全てがスペイン語の環境についていくことに必死でした。もっと勉強して来ればよかった、どうすれば先生の早いスペイン語を理解できるようになるのかと焦っていました。授業の方はすぐにリスニング力が伸びる、すぐに語彙が増えることは難しいと判断し、こつこつ勉強を進めていくことにシフトできました。授業中は Word のディクテーション機能を使いながらひたすらにメモを取り、帰宅後や空コマの時間で復習し内容理解 & 知らない単語を毎授業 20 個ずつ調べるという勉強を続けました。すると最初は理解度 10% だったのが次第に 50%…と増えていきました。未だに先生が何を言っているのか完全に理解しているわけではないですが確実に理解度が上がったと感じた時は嬉しかったです。

勉強が辛かったですがそれでも友達ができて、沢山遊ぶことができました。一番助けてくれたのはルームメイトだったと思います。彼女はチリからの留学生でネイティブスピーカーでした。私がまだ到着したての頃、遊びや留学生の集まりに誘ってくれたり、不安だった到着手続きにもついて来てくれたりして心強かったです。他にも同じ学部の留学生の友達、日本文化交流会であったスペインの友達など多くの友達ができました。私の周りには驚くほど日本人、アジア人が居らず寂しかったです。最初は街中で観光客のアジア人を見ただけで嬉しくなるほどでした。しかし今思うと、スペイン語に浸れる環境で最高の留学先だったと思います。私の留学は Erasmus というプログラムのものでした。ヨーロッパでは知名度のある留学制度なようで、アクティビティもバラエティ豊富でした。バスツアー・ピクニック・ラテンダンス・パーティーなど常に交流の場が用意されていたように思います。

今思うとスペインと言う環境・友達に本当に恵まれていました。勉強に追われることはありましたが毎日時間があってのんびり散歩したり古着巡りをしたりなど憧れていた豊かな半年間を過ごすことができて良かったです。

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400 字以上)

マドリードでいろんな人が私を助けてくれたように私も日本で困っている外国人、日本語を勉強したい留学生がいたら積極的に声をかけたいです。日本ではホテルの受付のバイトをしているため外国人観光客がよく来ます。言語の壁が高い国に滞在することがどれだけ大変なのか、不安なのかを身をもって理解したので、観光客の方々にもその気持ちを忘れず親身になって接したいと思います。

また、日本で当たり前だったことが外の世界に出て良い面も悪い面も気づくことができました。それを所属する多文化社会論ゼミでの研究に活かしたいです。卒業論文もスペインで見た知見を踏まえて考えられたらいいなと思います。現時点ではスペイン語に関わる職業に就職する予定はありませんが、何が未来で繋がるか分からないので、私が好きな事、スペイン語に触れること、は今後も一生勉強し続けたいと思います！

そしてスペイン語を向上させてメキシコ・チリ・ペルーなど他のスペイン語圏にも訪れてみたいです。スペイン語ができるようになればなるほど、関われる人の数も増えました。そのワクワク感を忘れずに生きたいです。

(3) 後輩へのアドバイス *留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400 字以上)

留学に興味がある人には是非とも挑戦してほしいです。

アドバイスとしては語学留学ではなく交換留学であるという事です。スペイン語講座などはありません…そのため到着時のスペイン語能力が日常会話レベルだった私は、授業でとても大変でした。難しい語彙に、先生の早いスペイン語、ゆっくりでしか読めない授業資料など高い壁が多いため、それに備えて留学前にはスペイン語の勉強をしっかりとっておいた方が良いです。選考の段階では DELE の B1 レベルを求められますが、そのレベルがあっても足りないほどに常に勉強が必要です。さらに留学生との会話は英語ですすることもあります。そのため友達を作るためには、英語でもスペイン語でもとにかく話した方が良いです。話そうと頑張っている人を軽蔑する人はいないと思います。

また、留学において知らないことが沢山あることは当然なので、手続きにおいても生活の中でも、授業でも知らないことは質問して解決するのが一番です。

異なる文化の土地に住むこと、居心地の良い安全基地の外に飛び出すことはとても怖いことですが日本にいては絶対に得られないこともあります。途中で大変なことがあっても結果的に最後には行ってよかったと思えるはずです。スペインに来る前も「自分は今でも十分幸せだ」と思っていたましたが、様々な体験を吸収し自分の幸せの限界はもっと広げられると知りました。留学に行ったらこんな感じかなと想像していたこともたくさんありました。その多くは合っていることもありましたが、想像の域を超えることばかりです。

未来に留学がどう役立つかだけではなく、今現在の大学生の自分にしかできないことを考えて留学を検討してみてほしいです